

作品研究) POWER OF BEAUTY 2024

フォトネイルモデル部門出品作品 — 『POWER OF LIFE』 —

(POWER OF BEAUTY 2024 Photo Nail Model Category Exhibited Works - 『POWER OF LIFE』 -)

酒井 朋恵¹⁾ 阿部 高広¹⁾

抄 録

全国的美容師や美容学生が集い、技術や感性を競い合う、年に一度の美容コンテスト&ショーイベント<POWER OF BEAUTY 2024>(旧 STYLING COLLECTION)「フォトネイル部門」に参加・出品した作品について、制作過程やテーマを紹介する。

キーワード : POWER OF BEAUTY 2024 フォトネイルモデル ネイルアート コンテスト フォト

I. はじめに

<POWER OF BEAUTY 2024>(旧 STYLING COLLECTION)とは、世界最大の理美容室組織<SPC GLOBAL>が主催する、全国各地の理美容師達が技術とプライドを懸けて競い合い、日本一のトップを目指す日本最大級のコンテスト&ショーイベントである。

今年から新しく「POWER OF BEAUTY～進次代のビューティーフェス」として生まれ変わり、エンターテインメント性の高いイベントとなった。

昨年、自分自身の感性や技術の向上・表現の場として新しくできた「フォトネイルモデル部門」の競技に参加したが、フォトの仕上がりなど作品の表現の仕方に課題があると感じ、大会終了後から創作意欲が更に募っていた。こうしたことから、昨年と同様の競技を選択し、挑戦することにした。

今回参加した「フォトネイルモデル部門」では、ネイルに合わせてヘアメイクから足先まで、各自が設定したテーマに合わせ、自由な発想による独創的なトータルコーディネートを作り上げ、「全身、ベストショット、ハンド」の写真を3枚撮影して出品し、ネイルデザイン、トータルコーディネートを競い合うものである。作品は、ゴールド賞(1位)を受賞した。

II. 作品紹介

今回の作品は、よりネイルにスポットを当てるため、ネイルの作りたいイメージや構成を決めたのち、そのネイルを活かすためのヘアメイクや衣装を合わせる

ことにした。そして、前回の課題でもあった写真撮影において、ネイルの細部まで、作品の魅力が最大限に活かせるよう工夫した。

「ネイル」は、生命力の力強さ、命の神秘を表現するため、繊細かつダイナミックに仕上がるようデザインして、何度も修正を加えながら、納得のいくところまで仕上げた。今回は、今までのコンテストや昨年の経験上、3D アートよりもペイントを評価する審査員が多い傾向があると考察し、3D アートも取り入れつつ、より繊細なペイントを多く取り入れることにした。まず、コントラストがはっきりとした力強い印象にするため、ベースカラーに原色の黒と赤を使い、さらに、生命力を表現するため、高貴で気品のある力強いイメージの動物達を配置し、描いた。リアルな動物はより繊細に描き、架空の動植物もより華やかさと高貴な雰囲気表現し、幻想的になるようにデザインした。躍動感を表現するため、蝶や角や羽根を3D アートにして立体感を出した。ポイントに手芸用パーツで制作したゴールドパーツやストーン等を使用して高貴な雰囲気を表現した。

「メイク」は、ネイルを活かした力強いイメージにするため、リップに赤を使用し、他はネイルを邪魔しないよう色味をあまり主張しすぎず、かつ、アイラインや睫毛・眉毛等は撮影の際に色飛びしないようしっかり描き、シャドーやハイライトで立体感を出した。

「ヘア」は、ネイルを邪魔しないようシンプルに仕上げるため、凝ったスタイルではなくゴールデンポイントで1束に結うことで、意志の強さを表現した。髪が長く重さがある為、髷の立ち上がりキープするため結び目を2段にし、黒い羽根で結び目を隠しつつ動物感を表現した。

1) SAKAI Tomoe ABE Takahiro
山野美容芸術短期大学
連絡先:〒192-0396 東京都八王子市鍵水 530

「衣装」は、ネイルを邪魔しないシンプルなものにするため、黒一色で肩紐が細く、光の当たり方でシンプルな柄が見えるサテンとシフォンを使った生地で繊細さを表現した。

「撮影」は、神秘的な世界観を出すために、ピントは手元のネイルに合わせ、顔はあえて甘いピントで撮影、表現した。ライティングは、被写体を際立たせるため、1灯目の位置から対角線上に被写体を挟み込むように2灯使用し、神々しい雰囲気演出するためにあえてバックライトの光を強くし、やや逆光気味に設定した。

最後に、撮影した写真の中から、よりネイル細部が鮮明に映っていて、生命力の力強さや命の神秘を表現できている「全身、ベストショット、ハンド」の写真3枚を選択し、その世界観を表現する作品のテーマとして『POWER OF LIFE』と名づけた。

今回は、余裕を持って早めに制作に取り掛かったが、ネイルアートにかなり拘って納得いくまで何度も作り直したため、撮影当日の朝ギリギリまでかかってしまった。当日も急遽モデルチェンジすることになる等のアクシデントもあり、予定通りには進まなかったが、本学美容教員の協力を得て、最終的に納得のいく作品

に仕上げることができた。前回の課題であったネイルの世界観や空気感、繊細なアートの細部まで表現し、伝えることができたと考えている。その結果、ゴールド賞（1位）という評価をいただくことができた。

近年は、美容師も美容技術を施す職人というだけではなく、美容技術に加えて自己プロデュース能力や、技術で表現しグローバルに伝えていく技術も求められる。コンテストにもその傾向が強くなってきていると感じる。学ぶべき課題がまだまだたくさんあることを体感できた。

今後更に新しいことに挑戦し、たくさんの刺激を受け、学び、成長していきたい。

参考文献

- 1) 酒井朋恵著 「STYLING COLLECTION 2023 フォトネイルモデル部門出品作品 -Fairy-」 山野研究紀要 Vol.31 2023



タイトル：『POWER OF BEAUTY』

「POWER OF BEAUTY 2024」フォト部門 <フォトネイルモデル> ゴールド賞 受賞作品



撮影：阿部高広 撮影協力：石川文子、内野美希、佐々木律希